

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート

②施設・事業所情報

名称：鴨居こども園	種別：認可保育所
代表者氏名：中原麻美子	定員（利用人数）： 90名
所在地： 横浜市緑区鴨居3-2-10	ロックヒルズ鴨居1F
電話：045-937-3553	ホームページ： http://kodomonomori.co.jp/ka/
【施設・事業所の概要】	
解説年月日 平成22年4月1日	
職員数	常勤職員： 14名 非常勤職員： 6名
専門職員	保育士： 16名
	栄養士 1名
施設・設備の概要	(居室数)
	(設備等)
	乳児室・保福室・・・1室 保育室・遊戯室・・・2室 事務室・医務室・・・1室 調理室・・・1室
	倉庫、玄関（カメラつきインターホン、ナンバー式電子錠）、園庭、空調設備、沐浴設備、排煙窓、トイレ（2か所）厨房設備

③理念・基本方針

- ①安全・安心（子どもも保護者も安心して通える保育園）
- ②健康（心も体も健やかで明るく元気な子）
- ③見守る保育（過干渉にならず意識的に見守る）
- ④環境・経験による保育（五感を刺激する環境による豊富な体験の提供）
- ⑤就労支援（使いやすい保育サービスの提供）

④施設・事業所の特徴的な取組

◇立地および施設の概要
鴨居こども園は、JR横浜線鴨居駅から徒歩約3分、保護者の通勤に便利なところにあります。園舎は鉄筋コンクリート造5階建ての1階にあり、園庭・乳児室・ほふく室・保育室・遊戯室・医務室や調理室などを備えています。0～5歳の子ども99人が利用しています。

◇特徴的な取り組み
運営法人の株式会社こどもの森（以下、「法人」という）は約30年の歴史を持ち、安定した保育力と運営力を強みとしています。園としても充実した法人の研修の受講を推奨し、職員の保育のスキルアップを図っています。職員の働きやすい職場作りにも力を入れ、様々な福利厚生制度を充実させていて、離職率の低い園となっています。駅に近いこともあり多くの保護者が待機しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年7月8日（契約日）～ 2023年3月31日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2012, 2017年度）

⑥総評

◇特長

① 保育の質の向上に向けた取り組みが機能しています

開園して13年目を迎え、その間退職者が少なく、5年目職員6人を中心に、経験年数や年齢層のバランスがとれた良い状態が続いています。経験年数の異なる担任の組み合わせにより、後輩の指導もスムーズに進んでいます。保護者アンケートや運営委員会での保護者の意見も取り入れ、PDCAサイクルに基づく取り組みを意識し、保育の質向上を心がけています。

② 働きやすい職場づくりに取り組んでいます

年度初に、全職員の長期休暇の希望を聞き、職員一人一人の育児状況や事情、希望に応じたワークライフバランスを考慮したシフト表を作成しています。

グループ園の園長が来園し園の勤務環境をチェックする際に園内の人に話づらいことを聞いてもらい、色々と相談できる機会を作っています。

海外研修制度や社員旅行補助制度などの福利厚生を充実させ、職員のモチベーションアップを図っています。

③ 新型コロナ禍の影響がある中でも、子どもの発達や育児について保護者の理解を深める取り組みを進めています

感染予防に努めながら保護者との懇談会や個別面談、行事への参加など活動を減らさないよう取り組んでいます。どのように工夫したら保護者との会合や子どもの活動に参加してもらえるか職員全員で検討しました。交代制など一定の制限は設けたものの、子どもの成長を身近に感じてもらえるよう運動会や親子遠足など保護者参加行事を実施しています。個人面談やオンライン懇談会を通して園の方針、計画、具体的な保育内容、子どもの姿などに理解を得て、共に成長に取り組んでいます。

④ 子どもや保護者の満足度を高める取り組みを行っています

子どもの表情や言動からその気持ちを汲み取り、心を満たすよう援助しています。

夕涼み会や生活発表会の企画では、子どもが考えを出し合う機会を設け、意見を生かせるよう努めています。保護者とは、送迎時の会話や連絡帳のやり取り、個別面談、運営委員会などで意見や要望を聞いています。本部の保護者アンケート、運動会や発表会など行事後の保護者アンケートから満足度、感想や要望を把握しています。その結果をまとめグラフに表し玄関に掲示しています。寄せられた意見や要望は、職員と必要に応じ保護者を交えて検討し、改善に活用しています。

◇今後期待される点

① 困った時に職員以外に相談できることのさらなる周知が期待されます

利用者アンケートや利用者の苦情・要望などを言えることは利用者の権利とし、保育事業のスピーディな改善・向上に役立つとともに、園に対する信頼を向上させるとしています。そのために、苦情・要望の受付担当者や本部の事務局、解決責任者、連絡先を明示しています。しかし、今回の第三者評価において実施した利用者調査で、問17「あなたは困った時に職員以外の人にも相談できることを分かりやすく伝えてくれましたか」に対し、「はい」と答えた人は回答者全体の30%に留まりました。今後、周知の方法の見直しなど認知度を高める、さらなる取り組みが期待されます。

② 保護者に向けて障害のある子とともに保育する意義を伝えることが期待されます

障害児の指導計画にはクラスの指導計画に合わせ周りの子どもと一緒に行事や遊びに参加できるよう取り組み方、援助の方法、環境の整え方を工夫し、盛り込んでいきます。障害のある子とともに園生活を送り、互いの個性を認め、やさしさや心の豊かさを育み、共に成長できるよう支援に努めています。現状、こうした取り組みを保護者に対し明確な説明はしていないということです。保護者に向けて障害のある子どもとともに生活する意義を伝えることによって子どもへの理解をさらに深めることが期待されます。

③ 年度計画を意識しつつ、中期計画の内容のさらなる充実が期待されます
法人の「教育経営計画書」に理念及び方針、長期的なビジョンを示しています。現在、単年度経営計画の延長として、中期経営計画を策定しているということです。現状の把握分析を踏まえ、理念及び方針、長期的なビジョンの実現のため中長期経営計画を策定し、その中長期計画を着実に実現するために単年度計画を策定することが必要とされています。今後、両者の内容に連続性を持たせること、さらに、年度計画に反映されるべき中期計画の内容を充実させることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、第三者評価を受審するにあたり、経験年数が長い職員と中堅職員が多い環境ではありますが、評価項目を職員全員で確認し、改めて日々の保育の見直しや、行き届いていない部分の改善に気付くことができ、意義深い機会となりました。「お家の次に好きな場所」となれるよう職員一人ひとりの愛情が子どもたちに伝わるように、また、一人一人が「かけがえのない大切なひとり」であることを感じられるように、保護者の皆様と共に子どもたちの成長を見守り、たくさんの経験を通して自立を目指し、子ども達一人一人が「自分の好きなこと、得意なこと」を見つけられるようサポートしていきたいと思えます。
最後に、保護者の皆様 お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。そして、評価調査者の皆様 本当にありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり